

2015 年 4 月 2 日

テバ製薬株式会社
テバファーマスーティカル株式会社
テバエーピーアイ株式会社

この資料は、2015 年 2 月 5 日にテバ本社（イスラエル）が発表した報道資料の邦訳です。
訳に齟齬が生じる場合、原文が優先されます。

テバ、2014 年度第 4 四半期および通年業績を発表

- 売上高 52 億 US ドル（第 4 四半期）、203 億 US ドル（通年）－米国の OTC 医薬品製造工場の売却、および外国為替相場の変動にかかる影響は除く。第 4 四半期、通年売上高いずれも 2%増
- Non-GAAP 営業利益 15 億 US ドル（第 4 四半期）－前年同期比 10%増、GAAP 営業利益 9 億 US ドル（第 4 四半期）－前年同期比 68%増
- Non-GAAP 営業利益 57 億 US ドル（通年）－前年同期比 10%増、GAAP 営業利益 40 億 US ドル（通年）－前年同期比 140%増
- Non-GAAP 営業利益率 28.9%（第 4 四半期）－前年同期 25%、Non-GAAP 営業利益率 28.3%（通年）－前年同期 25.6%
- GAAP 営業利益率 18.2%（第 4 四半期）－前年同期 10.3%、GAAP 営業利益率 19.5%（通年）－前年同期 8.1%
- Non-GAAP 希薄化後 1 株当たりの純利益 1.31US ドル（第 4 四半期）－前年同期比 8%減、GAAP 希薄化後 1 株当たりの純利益 0.80US ドル（第 4 四半期）－前年同期比 78%増
- Non-GAAP 希薄化後 1 株当たりの純利益 5.07US ドル（通年）－前年同期比 1%増、GAAP 希薄化後 1 株当たりの純利益 3.56US ドル（通年）－前年同期比 139%増
- 営業活動による潤沢なキャッシュフロー18 億 US ドル（第 4 四半期）－前年同期比 115%増、営業活動によるキャッシュフロー51 億 US ドル（通年）－前年同期 32 億 US ドル
- 株式の買い戻し 5 億 US ドル（第 4 四半期）－四半期ごとの配当 10%増（1 株当たり NIS1.33）
- 2015 年度の指針を再確認

2015 年 2 月 5 日、イスラエル－テバファーマスーティカル・インダストリーズ・リミテッド（以下、テバ社）（NYSE : TEVA）は、2014 年 12 月 31 日終了の第 4 四半期と通年の業績を発表しました。

テバ社の社長兼最高経営責任者（CEO）であるエレズ・ビゴッドマンは次のように述べています。

「将来への大いなる躍進に向け、持続的かつ収益性の高い成長を推進するため、まずは堅固な基盤を築いていかなければいけません。2014 年はテバ社にとって、今後の成長のための、安定した根本となる基盤を築いた年でした。私たちは、核となる事業を活性化したのみならず、ジェネリック事業における主導的地位を取り戻しスペシャリティ事業における主要治療領域のさらなる絞り込み、主要製品のライフサイクル管理、事業運営の収益性やキャッシュフロー創出の著しい向上等、成長の原動力となる得る事業に再び活力を与えることが出来ました。

効率性、規模、製造能力といった点で、最も競走力の高い生産ネットワークを作り上げ、市場での営業活動に優先順位をつけ、主導的地位と収益性を確実なものにするよう期待しています。予想通り著しい成果を示した、テバ社のスペシャリティ医薬品およびジェネリック医薬品パイプラインには大いに期待が持てます。私たちは既存事業のみならず新規事業にも注力し躍進することで、テバ社を株主にとって、持続的かつ収益性の高く成長し、価値を創造し、長期的な還元をもたらす企業に位置付けていきたいと考えています」

テバ社の最高財務責任者 (CFO) であるエヤル・デシェは次のように述べています。

「年間を通じて、テバ社は世界規模のポートフォリオの最適化、および継続的なコスト抑制への取り組みを特に重要視してきました。その結果、Non-GAAP の営業利益率において約 400 ベーシズ・ポイント (4%) の総合的な改善が見られました。これらの取り組みが、財務指針の主要指標を達成もしくは上回る、2014 年の素晴らしい決算の業績へとつながりました。テバ社は年間営業利益に 1.2 億 US ドルもの影響を及ぼした為替レートの逆風や、予想されていた税金費用の増額にも関わらず、史上最高の営業活動によるキャッシュフローを生み出したのです。私たちは株式買い戻し計画再開のため、資金の一部を使用しました。第 4 四半期に自社株式 5 億 US ドルを購入し、2014 年度内に 11 億 US ドルの配当金を還元しました。26 億 US ドル以上の現金、約 100 億 US ドルの債務、債務対 EBITDA 比は 1.67 という堅実なバランスシートを有しています。」

2014年第4四半期業績

ジェネリック医薬品セグメント

	ジェネリック医薬品			
	10-12 月			
	2014		2013	
単位: 百万 US ドル/売上比率				
売上	2,469	100.0%	2,680	100.0%
売上総利益	1,081	43.8%	1,155	43.1%
研究開発費	133	5.4%	141	5.3%
営業経費	387	15.7%	500	18.7%
セグメント利益*	561	22.7%	514	19.2%

* セグメント利益は、次のような構成となっています。

セグメント関連{売上総利益－(営業経費＋研究開発費)}

一般管理費、償却費および経常外項目を含みません。

上記データは、一部の製品において変更された分類を通期にわたり反映させています。

ジェネリック医薬品売上高

ジェネリック医薬品の第4四半期における売上高は、25 億 US ドルで、前年同期比は 8%減（現地通貨ベースでは 3%減）でした。

ジェネリック医薬品の売上内訳は以下の通り：

- 米国の売上高は 12 億 US ドルで、前年同期の水準を維持しています。売上増加を示した omega-3-acid ethyl esters (Lovaza®のジェネリック医薬品)、capecitabine (Xeloda®のジェネリック医薬品)、celecoxib (Celebrex®のジェネリック医薬品)、raloxifene (Evista®のジェネリック医薬品)、entecavir (Baraclude®のジェネリック医薬品) が、2013 年に上市した製品、主に niacin ER (Niaspan®のジェネリック医薬品) の独占権喪失による減収を相殺しました。
- 欧州の売上高は 7.59 億 US ドルで、前年同期比は 16%減（現地通貨ベースでは 9%減）でした。地域における収益性を追求し、かつ持続的なビジネスを行う戦略を導入したことが、減収の主な要因です。ドイツ、フランス、スペインの減収の影響と、他市場における増収が一部相殺しました。この戦略により、欧州におけるジェネリック医薬品事業の収益性が著しく向上しました。

- その他地域（ROW）の売上高は 5.32 億 US ドルで、前年同期比は 12%減（しかし、現地通貨ベースでは 1%増）でした。現地通貨ベースにおける売上増加は、主にロシア、ラテンアメリカの売上増加のほとんどが、日本、カナダにおける減収により相殺されました。
- 他社への原薬（API）売上は 1.78 億 US ドル（上記の市場別売上に含む）で、前年同期比は 2%増（現地通貨ベースでは 5%増）でした。

当該四半期における総売上の 48%をジェネリック医薬品が占めています。なお前年同期は 49%でした。

ジェネリック医薬品の売上総利益（粗利）

ジェネリック医薬品セグメントからの第 4 四半期における売上総利益は 11 億 US ドルで、前年同期比は 6%減でした。売上総利益の減少は減収に起因しますが、2014 年に上市した製品および欧州でのポートフォリオと、価格設定の見直しと原薬の高い収益性により一部相殺されました。ジェネリック医薬品セグメントの第 4 四半期における売上総利益率は前年同期の 43.1%から 43.8%に増加しました。

ジェネリック医薬品の利益

ジェネリック医薬品からの第 4 四半期における利益は 5.61 億 US ドルで、前年同期の 5.14 億 US ドルに比べ 9%増でした。利益増加の主な要因は営業経費と研究開発費の減額によるもので、売上総利益の減収を一部相殺しました。ジェネリック医薬品売上の第 4 四半期における売上利益率は前年同期の 19.2%から 22.7%に増加しました。

スペシャリティ医薬品セグメント

	スペシャリティ医薬品			
	10-12 月			
	2014		2013	
単位: 百万 US ドル/売上比率				
売上	2,243	100%	2,214	100%
売上総利益	1,956	87.2%	1,928	87.1%
研究開発費	217	9.7%	253	11.4%
営業経費	545	24.3%	516	23.3%
セグメント利益*	1,194	53.2%	1,159	52.3%

* セグメント利益は、次のような構成となっています。

セグメント関連{売上総利益－(営業経費＋研究開発費)}
一般管理費、償却費および経常外項目を含みません。

上記データは、一部の製品において変更された分類を通期にわたり反映させています。

スペシャリティ医薬品売上高

スペシャリティ医薬品の第4四半期における売上高は、22億USドルで、前年同期比は1%増（現地通貨ベースでは5%増）でした。米国の売上高は16億USドルで前年同期比は6%増です。欧州の売上高は4.48億USドルで、前年同期比は11%減（現地通貨ベースでは3%減）でした。

その他地域（ROW）の売上高は1.67億USドルで、前年同期比は2%減（しかし、現地通貨ベースでは23%増）でした。

当該四半期における総売上の43%をスペシャリティ医薬品が占めています。なお前年同期は41%でした。

スペシャリティ医薬品の売上が現地通貨ベースで前年の第4四半期より増加した主な要因は、オンコロジーおよび中枢神経系製品の売上増加によるものです。これらの製品がウイメンズヘルス製品の減収を一部相殺しました。

下表は2014年度および2013年度第4四半期（12月31日終了）における、治療領域ごとの売上と当社のスペシャリティ医薬品セグメントの主要製品をまとめたものです。

スペシャリティ医薬品売上内訳

	10-12月		増減率
	2014	2013	対前年同期
	単位:百万USドル		
中枢神経系	1,451	1,463	-1%
Copaxone®	1,121	1,142	-2%
Azilect®	108	98	10%
Nuvigil®	105	76	38%
オンコロジー	335	269	25%
Treanda®	226	177	28%
呼吸器系	252	254	-1%
ProAir®	120	114	5%
Qvar®	77	89	-13%
ウイメンズヘルス	115	134	-14%
その他スペシャリティ	90	94	-4%

スペシャリティ医薬品合計

2,243

2,214

1%

上記データは、一部の製品において変更された分類を通期にわたり反映させています。

米国および世界で主流の、多発性硬化症治療薬 **Copaxone®** (20 mg/mL および 40 mg/mL) の売上は 11 億 US ドルで、前年同期比は 2%減（しかし現地通貨ベースでは 3%増）でした。

米国における、**Copaxone®** の売上は 8.35 億 US ドルで、前年同期比は 4%増でした。2014 年 12 月の IMS ヘルスデータによると、2014 年第 4 四半期末時点において、**Copaxone®** の新製品 (40 mg/mL) の処方箋と製品群合計の処方箋それぞれが米国市場で占めるシェアは、25.9% と 31.5% でした。**Copaxone®** 40 mg/mL が **Copaxone®** の処方箋総数の 60%以上を占めました。

米国外における売上は、2.86 億 US ドルで、前年同期比は 15%減（しかし現地通貨ベースでは前年同期の水準を維持）でした。ロシアでの売上増加（入札時期であったため）がその他市場の減収により相殺されました。

当社の世界全域における **Azilect®** の売上高は 1.08 億 US ドルで、前年同期比は 10%増でした。一方、グローバル市場における売上高は 1.41 億 US ドルで 6%増でした。これは米国や欧州での需要増加に加え、米国での価格上昇による影響も要因です。

オンコロジー領域製品 の第 4 四半期における売上高は 3.35 億 US ドルで、前年同期比は 25%増でした。**Treanda®** および、最近上市した G-CSF 製品、**Lonquex®** と **Granix®** の売上増加が主な要因です。第 4 四半期における、**Treanda®** の売上は、2014 年 11 月に新たな液剤剤が上市となったことを受けて 2.26 億 US ドルとなりました。なお、前年同期は 1.77 億 US ドルでした。

呼吸器系領域製品 の第 4 四半期における売上高は、2.52 億 US ドルで、前年同期比は 1%減でした。**ProAir®** の第 4 四半期における売上高は 1.20 億 US ドルで、前年同期比は 5%増でした。主に需要増加に起因するこの売上増が、価格変動により一部相殺されました。**Qvar®** の第 4 四半期における売上高は 0.77 億 US ドルで、前年同期比は 13%減でしたが、これは価格変動によるものです。

スペシャリティ医薬品の売上総利益（粗利）

スペシャリティ医薬品セグメントにおける第 4 四半期における売上総利益は 20 億 US ドルで、前年同期比は 1%増でした。

スペシャリティ医薬品セグメントの第4四半期における売上利益率は87.2%でした。なお前年同期は87.1%でした。

スペシャリティ医薬品の利益率

ジェネリック医薬品からの第4四半期における利益は12億USドルで、前年同期比は3%増でした。利益増加の要因は、研究開発費の減額と売上総利益の増加によるもので、新製品上市にかかる営業経費の増加により一部相殺されました。

第4四半期におけるスペシャリティ医薬品の売上利益率は前年同期の52.3%から53.2%に向上しました。

下表は第4四半期（12月31日終了）における、MS（多発性硬化症）製品群、およびこれ以外のスペシャリティ医薬品の詳細をまとめたものです。

MS(多発性硬化症)治療薬製品群				
10-12 月				
	2014		2013	
単位:百万 USドル/売上比率				
売上	1,121	100.0%	1,142	100.0%
売上総利益	1,002	89.4%	1,017	89.1%
研究開発費	32	2.9%	22	1.9%
営業経費	125	11.2%	147	12.9%
MS 利益	845	75.4%	848	74.3%
その他スペシャリティ				
10-12 月				
	2014		2013	
単位:百万 USドル/売上比率				
売上	1,122	100.0%	1,072	100.0%
売上総利益	954	85.0%	911	85.0%
研究開発費	185	16.5%	231	21.5%
営業経費	420	37.4%	369	34.4%
その他のスペシャリティ利益	349	31.1%	311	29.0%

上記データは、一部の製品において変更された分類を通期にわたり反映させています。

その他の営業活動

PGT (P&G と Teva の合併会社) に関連する **OTC** の第 4 四半期における当社の売上は、2.27 億 US ドルでした。なお前年同期は 2.46 億 US ドル（現地通貨ベースで 9%の売上増）でした。現地通貨ベースでの売上増加の要因は、ロシアおよびラテンアメリカでの売上増加によるもので、欧州での減収により一部相殺されました。

PGT の第 4 四半期における市場全体での売上は 3.72 億 US ドルで、前年同期比は 0.35 億 US ドル減（現地通貨ベースでは 3%の売上増）でした。現地通貨ベースでの売上増加の要因は、ラテンアメリカおよびアジアでの売上増加によるものです。

OTC 医薬品の第 4 四半期における売上は 2.28 億 US ドルで、28%減（現地通貨ベースでは 15%減）でした。売上減少は以前に P&G 社から買収した米国の OTC 医薬品製造工場を、2014 年 7 月同社に売却したことに起因します。

その他の第 4 四半期における売上は 2.28 億 US ドルで、前年同期比は 4%増でした。主に、イスラエルおよびハンガリーにおける第三者製品の販売に由来するものです。

2014 年度第 4 四半期主要指標

Non-GAAP 情報

第 4 四半期における Non-GAAP 調整費用は 4.38 億 US ドルでした。なお、当四半期の Non-GAAP 純利益と Non-GAAP1 株利益から、以下項目は除きます。

- 取得無形資産償却費用 2.53 億 US ドル（うち 2.44 億 US ドルは製品の売上原価、残る 0.9 億 US ドルは営業経費）
- 長期保有資産の減損費 1.79 億 US ドル
- リストラ費（事業再構築費）およびその他費用 計 1.1 億 US ドル
- 設備関連規制対応費 0.3 億 US ドル
- 研究開発プロジェクト中止の関連費用 0.27 億 US ドル
- 訴訟和解関連費および偶発損失費 0.44 億 US ドル
- 税控除 1.17 億 US ドル

当社としては、こうした項目を除外することで、投資家の方々に当社事業をより理解いただけたと考えています。米国 GAAP ベースの決算数値と修正済み Non-GAAP ベース数値の調整項目に関しては添付の付帯資料をご覧ください。

為替レート

2014 年第 4 四半期と 2013 年度第 4 四半期とでは、為替レートに変動が生じています。この変動により売上が 2.77 億 US ドル減少しました。Non-GAAP 営業利益は 0.55 億 US ドル減少し、GAAP 営業利益は 0.41 億 US ドル減少しました。

Non-GAAP の第 4 四半期における**売上総利益**は 32 億 US ドルで、前年同期比は 1%減でした。Non-GAAP の第 4 四半期における**売上利益率**は 61.2%で、前年同期は 58.9%でした。GAAP の第 4 四半期における売上総利益は 29 億 US ドルで、前年同期の水準を維持しています。GAAP の第 4 四半期における**売上利益率**は 55.9%で、前年同期は 53.3%でした。

研究開発費 (R&D)

研究開発費（研究開発プロジェクト中止の関連費用および仕掛研究開発の購入を除く）の第 4 四半期における支出額は 3.52 億 US ドルで、前年同期は 4.09 億 US ドルでした。これは当該四半期における売上の 6.8%を占め、前年同期は 7.5%でした。ジェネリック医薬品セグメント関連の第 4 四半期における研究開発費は 1.33 億 US ドルで、前年同期の 1.41 億 US ドルに比べ 6%減となりました。スペシャリティ医薬品セグメント関連の第 4 四半期における研究開発費は 2.17 億 US ドルで、前年同期の 2.53 億 US ドルに比べ 14%減となりました。これは主に、中核治療領域外の経費減および呼吸器系パイプライン関連費用計上のタイミングによるものです。

営業経費 (S&M)

営業経費（取得無形資産償却費用を除く）の第 4 四半期における支出額は 9.97 億 US ドルで、売上比 19.3%でした。前年同期は 11 億 US ドル、20.6%でした。ジェネリック医薬品セグメント関連の第 4 四半期における営業経費は 3.87 億 US ドルで、前年同期の 5 億 US ドルに比べ 23%減となりました。これは主に米国でのロイヤリティ費減と、欧州とロシアにおける経費減によるものです。スペシャリティ医薬品セグメント関連の第 4 四半期における営業経費は 5.45 億 US ドルで、前年同期の 5.16 億 US ドルに比べ 6%増となりました。これは主に、DuoResp、Spiromax[®]、Lonquex[®]、Granix[®]、Adasuve[®]の上市関連費用と 2015 年に向けた新製品上市の準備費によるものです。

一般管理費 (G&A)

一般管理費の第 4 四半期における支出額は 3.2 億 US ドルで、売上比 6.2%でした。前年同期は 3.16 億 US ドル、5.8%でした。

営業利益

Non-GAAP の第 4 四半期における営業利益は 15 億 US ドルで、前年同期比は 10%増でした。GAAP の第 4 四半期における営業利益は 9.42 億 US ドルで、前年同期は 5.6 億 US ドルでした。

財務費用

Non-GAAP 財務費用は 0.69 億 US ドルで、前年同期は 0.55 億 US ドルでした。GAAP 財務費用は 0.7 億 US ドルで、前年同期は 0.59 億 US ドルでした。

法人税引当

Non-GAAP 税引前利益 14 億 US ドルに対する Non-GAAP 法人税引当金は 3.03 億 US ドルで、四半期税率は 21%でした。前年同期は Non-GAAP 税引前利益 13 億 US ドルに対し、法人税引当後 0.91 億 US ドル、税率は 7%でした。**GAAP 税引前利益** 8.72 億 US ドルに対する法人税費用は、1.86 億 US ドルで、四半期税率は 21%でした。前年同期は、Non-GAAP 税引前利益 5.01 億 US ドルに対し、法人税引当後 1.14 億 US ドル、税率は 23%でした。

当四半期の税率が上昇した要因としては、主にイスラエル国の優遇税制に基づく、従来の減免措置が 2013 年に失効したことによるものです。現在は、当国で得た利益に対し、通常 9%の税率が課されます。

純利益および 1 株当たり純利益

Non-GAAP 純利益、Non-GAAP 希薄化後 1 株当たり純利益は、それぞれ 11 億 US ドル、1.31US ドルでした。前年同期比は 7%減、8%減でした。**GAAP 純利益、GAAP 1 株当たり純利益**は、それぞれ 6.87 億 US ドル、0.8US ドルでした。前年同期の 3.8 億 US ドル、0.45US ドルと比較すると、それぞれ 81%増、78%増でした。

キャッシュフロー

営業活動による第 4 四半期におけるキャッシュフローは 18 億 US ドルで、前年同期は 8 億 US ドルでした。増加した要因は主に訴訟和解関連の支払額が減少したことによるものです。純資本支出を除くフリーキャッシュフローは 15 億 US ドルで、前年同期は 5 億 US ドルでした。

現金および投資金額

現金および投資金額は 2014 年 12 月 31 日時点で、26 億 US ドルでした。

発行済み株式数

第 4 四半期における、完全希薄化後 1 株当たり純利益計算に用いられた平均株式数は、GAAP ベースおよび Non-GAAP ベースで 8.61 億株です。2014 年 12 月 31 日時点で、当社の時価総額計算に用いる株式数は、約 8.52 億株となりました。

株主資本

2014 年 12 月 31 日時点での株主資本は 234 億 US ドルでした。なお同年 9 月 30 日時点では 237 億 US ドルでした。減少の主な要因は、為替変動による 6 億 US ドルのマイナス影響、5 億 US ドルの株式買い戻し、および 3 億 US ドルの配当金支払いによるものですが、7 億 US ドルの GAAP 純利益、2 億 US ドルのオプション取引、金融派生商品から生じる 1 億 US ドルの含み益の収益によって一部相殺されました。

2014 年度主要指標

Non-GAAP 情報

2014 年度における Non-GAAP 費用は 13 億 US ドルでした。なお、当年の Non-GAAP 純利益と Non-GAAP1 株利益から、以下項目は除きます。

- 取得無形資産償却費用 10.36 億 US ドル
- 長期保有資産の減損費 3.87 億 US ドル
- リストラ費（事業再構築費）およびその他費用 計 2.82 億 US ドル
- 研究開発プロジェクト中止の関連費用 0.79 億 US ドル
- 設備関連規制対応費 0.75 億 US ドル
- 新薬の処方箋薬関連費 0.4 億 US ドル
- 訴訟和解関連費および偶発損失費 1.11 億 US ドル
- 税関連費 4.92 億 US ドル

当社としては、こうした項目を除外することで、投資家の方々に当社事業をより理解いただけていると考えています。米国 GAAP ベースの決算数値と修正済み Non-GAAP ベース数値の調整項目に関しては添付の付帯資料をご覧ください。

為替レート

2014 年と 2013 年とでは、為替レートに変動が生じています。この変動により売上が 346 億 US ドル減少しました。Non-GAAP 営業利益は 1.23 億 US ドル減少し、GAAP 営業利益は 1.14 億 US ドル減少しました。

Non-GAAP の 2014 年度における**売上総利益**は 121 億 US ドルで、前年比は 2%増でした。Non-GAAP の 2014 年度における**売上総利益率**は 59.9%で、前年は 58.6%でした。GAAP の 2014 年度における売上総利益は 111 億 US ドルで、前年比 3%増でした。GAAP の 2014 年度における売上総利益率は 54.5%で、前年は 52.7%でした。

研究開発費（R&D）

研究開発費（研究開発プロジェクト中止の関連費用および仕掛研究開発の購入を除く）の 2014 年度における支出額は 14 億 US ドルで、前年比は 1%減でした。これは当年、前年共に売上の 7%を占めました。

営業経費（S&M）

営業経費（取得無形資産の償却費用および新薬の処方箋薬関連費は除く）の 2014 年度における支出額は 38 億 US ドルで、売上比 18.7%でした。前年は 40 億 US ドル、19.9%でした。

一般管理費（G&A）

一般管理費の 2014 年度における支出額は 12 億 US ドルで、前年より 0.22 億 US ドル減少しました。これは、2014 年度売上の 6%を占めています。なお 2013 年度は 6.1%でした。

2014 年の営業利益

Non-GAAP の 2014 年における営業利益は 57 億 US ドルで、前年比は 10%増でした。GAAP の 2014 年度における営業利益は 40 億 US ドルで、前年は 16 億 US ドルでした。

財務費用

Non-GAAP 財務費用は 3.06 億 US ドルで、前年は 2.89 億 US ドルでした。GAAP 財務費用は 3.13 億 US ドルで、前年は 3.99 億 US ドルでした。

法人税引当

Non-GAAP 税引前利益 54 億 US ドルに対する 2014 年度の Non-GAAP 法人税引当金は 11 億 US ドルでした。前年は Non-GAAP 税引前利益 49 億 US ドルに対し、法人税引当後 6.3 億 US ドルでした。2014 年度の Non-GAAP 税率は 20%で、前年は 13%でした。GAAP 税引前利益 36 億 US ドルに対する法人税費用は 5.91 億 US ドルで、2014 年度税率は 16%でした。前年は、Non-GAAP 税引前利益 5.01 億 US ドルに対し、法人税引当後 1.14 億 US ドルでした。前年においては、税引前利益 13 億 US ドルに対し、0.43 億 US ドルの税額控除を記録しました。

純利益および 1 株当たり純利益

Non-GAAP 純利益、Non-GAAP 希薄化後 1 株当たり純利益は、それぞれ 44 億 US ドル、5.07US ドルでした。前年比は 2%増、1%増でした。GAAP 純利益、GAAP 1 株当たり純利益は、それぞれ 31 億 US ドル、3.56US ドルでした。前年は 13 億 US ドル、1.49US ドルでした。

キャッシュフロー

営業活動による 2014 年度におけるキャッシュフローは 51 億 US ドルで、前年は 32 億 US ドルでした。純資本支出を除くフリーキャッシュフローは 43 億 US ドルで、前年は 23 億 US ドルでした。

発行済み株式数

2014 年度における、完全希薄化後 1 株当たり純利益計算に用いられた平均株式数は、GAAP ベースおよび Non-GAAP ベースで 8.58 億株でした。

配当金

当社は 2015 年 2 月 3 日に開催した取締役会において、2014 年第 4 四半期の配当は 1 株当たり 1.33NIS（新シェケル、当日の為替レートによる換算で約 34 セント）の現金配当を公表しました。なお、支払基準日は 2015 年 2 月 19 日とし、支払日は 2015 年 3 月 3 日とします。また、15%の源泉徴収が課されます。

2015 年 4 月より、配当金は US ドルにて公表および支払いを行います。

年次報告書 (Form 20-F)

当社は来週、証券取引委員会と共に年次報告書 (Form 20-F) を提出します。この報告書は当社のウェブサイト <http://www.tevapharm.com>, および証券取引委員会のウェブサイト <http://www.sec.gov> にてご覧いただけます。